

平成 1 9 年 度

長期研修者研究抄録



鹿児島県総合教育センター

平成19年度 長期研修者一覧

番号	教科 領域等	氏名 (勤務校)	研究主題
1	体育	小森 誠喜 (鹿児島市立 川上小学校)	目的意識をもって、主体的に体力づくりに取り組む子どもの育成
2	情報教育	戸畑 博文 (鹿児島市立 和田小学校)	情報を主体的に活用し、自ら課題を解決していこうとする児童の育成 －教科と総合的な学習の時間とを関連付けた情報活用能力の育成を通して－
3	国語	中川 寛仁 (阿久根市立 大川小学校)	主体的に説明的文章教材にかかわり、確かな読みの力を身に付けていく子どもの育成 －読み取ったことや自分の考えを書かせる指導を中心に－
4	算数	柏本 啓太 (肝付町立 高山小学校)	子ども一人一人が意欲をもって主体的に算数科の基礎・基本を身に付けることができる指導の在り方 －単元の学習に対する必要感や個に応じた目標を明確にもたせるための取組を通して－
5	数学	有馬 寛 (鹿児島市立 谷山中学校)	推論するよさに気付かせ、論理的思考を表現する力を高める学習指導法の研究 －日常生活との関連性を意識した「図形」領域の論証指導を通して－
6	キャリア教育	熊谷 吉朗 (鹿児島市立 喜入中学校)	中学校における生徒一人一人の勤労観、職業観を育てる指導の在り方 －教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間の有機的な関連付けを通して－
7	理科	上床 美鈴 (指宿市立 南指宿中学校)	自然を微視的にみたり、思考したりすることの楽しさを味わいながら、確かな粒子概念を身に付けられる理科学習指導
8	外国語 (英語)	栢木 千鶴代 (霧島市立 国分中学校)	生徒一人一人の実践的コミュニケーション能力の基礎を培う中学校英語科の学習指導の在り方 －言語材料の定着を図る4領域を関連させた言語活動を通して－
9	理科	山下 覚 (鹿児島県立 開陽高等学校)	地学現象を身近に感じることができる教材集と学習指導の在り方
10	美術	本田 誠 (鹿児島県立 奄美高等学校)	生徒一人一人に基礎的技能を高めさせ、表現の楽しさを味わわせる美術学習指導法の工夫 －美術Ⅰ「デッサン」学習の導入部分における授業用Webサイトの活用を中心に－
11	特別支援教育	中村 志保 (鹿児島県立 武岡台養護学校)	教育的ニーズに応じた自立活動の展開の工夫 －知的障害のあるA児の指導を通して－

番号	教科領域等	氏名	勤務校	研究主題	研究内容
1	体育	小森誠喜	鹿児島市立川上小学校	目的意識をもって、主体的に体力づくりに取り組む子どもの育成	本研究は、体力づくりの意義を理解し、主体的に体力づくりに取り組む子どもの育成を目指し、「目的意識をもたせる」、「継続的に取り組ませる」、「教師が個に応じてかかわる」という3つの視点から、体力づくりに関する指導の進め方を追究したものである。 そこで、まず、理論研究や実態調査を踏まえ、上記の3つの視点を基に体力づくり指導計画を作成し、次に、10時間の実証授業を設定し、子どもの変容から効果を確認した。 その結果、子どもの運動意欲の高まりや運動意欲の持続に効果があり、体力づくり指導計画の有効性が見えてきた。今後、研究対象を広げ、指導計画を工夫改善しながら有効性を追求していきたい。
2	情報教育	戸畑博文	鹿児島市立和田小学校	情報を主体的に活用し、自ら課題を解決していこうとする児童の育成 －教科と総合的な学習の時間とを関連付けた情報活用能力の育成を通して－	本研究は、情報を主体的に活用し、課題を解決する児童を育成するために、教科と総合的な学習の時間を関連付け、情報活用能力を体系的、系統的に育成するための指導の在り方について研究したものである。 具体的には、児童の実態に応じた情報活用能力到達目標を設定し、伝えることを意識させた課題解決学習の過程で、他の教科等で学習したことを生かしながら、学び方の習得と、情報活用能力の育成を図った。 その結果、情報活用能力を育成する上で、到達目標を基に、各教科間で関連付けて系統的に指導することの有効性が分かった。
3	国語	中川寛仁	阿久根市立大川小学校	主体的に説明的文章教材にかかわり、確かな読みの力を身に付けていく子どもの育成 －読み取ったことや自分の考えを書かせる指導を中心に－	本研究は、子どもが主体的に説明的文章教材にかかわり、確かな読みの力を身に付けるために、「読むこと」の学習における書かせる指導の在り方について追究した。 具体的には、読みの目的と書く活動の関連を明らかにした系統表を基に、問題意識や目的と見通しをもたせながら、読み取ったことや自分の考えを書かせる指導を工夫改善し、その有効性を授業を通して検証した。 その結果、これらの工夫が、教材文の内容等を自分のこととしてとらえながら正しく読み取り、考えを深めていく子どもの育成に有効であることが分かった。
4	算数	柏本啓太	肝付町立高山小学校	子ども一人一人が意欲をもって主体的に算数科の基礎・基本を身に付けることができる指導の在り方 －単元の学習に対する必要感や個に応じた目標を明確にもたせるための取組を通して－	本研究は、算数科の基礎・基本を身に付けた子どもを育成するための学習指導の在り方について、意欲や主体性の育成に焦点化して研究したものである。 まず、「自ら学ぶ意欲」の構成要素のうち、特に「成功動機」、「学習価値観」に着目し、単元の学習に対する必要感や個に応じた目標を明確にもたせるための手だてを工夫した。次に、マネジメントの視点から、効果的な家庭学習や家庭との連携のための手だてを工夫した。 その結果、算数科の学習に意欲をもって主体的に取り組む子どもの姿が見られるようになった。

番号	教科領域等	氏名	勤務校	研究主題	研究内容
5	数学	有馬寛	鹿児島市立立谷山中学校	推論するよさに気付かせ、論理的思考を表現する力を高める学習指導法の研究 －日常生活との関連性を意識した「図形」領域の論証指導を通して－	本研究は、数学科「図形」領域の論証指導において、生徒に推論するよさに気付かせ、論理的な思考を表現する力を高めるための学習指導法について研究したものである。 まず、「図形」領域の系統性を把握し、日常生活と関連させた学習問題の作成、設定について研究した。次に、推論の見通しをもたせ、他者に分かりやすく伝える場を設定し、実証授業を行った。 その結果、生徒が学習問題を身近にとらえ、見通しをもって取り組むようになり、証明を行うことの意義を理解させ、論理的な思考を表現する力を高めることができた。
6	キャリア教育	熊谷吉朗	鹿児島市立喜入中学校	中学校における生徒一人一人の勤労観、職業観を育てる指導の在り方 －教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間の有機的な関連付けを通して－	本研究は、キャリア教育の視点に基づき、中学校の職場体験学習と教科・領域の指導とを意図的・計画的に関連付けて行った研究である。 具体的には、事業所との連携を図りながら、職場体験学習の事前・事後学習を充実させるとともに、体験活動を通して得られた成果が、その後の特別活動や道徳、社会科（公民的分野）の学習に生かされるよう工夫した。 これにより、生徒の職業や進路に対する理解が深まり、生き方や進路について考える意欲が高まるなど、中学校において今後求められる、キャリア教育の方向性を探ることができた。
7	理科	上床美鈴	指宿市立南指宿中学校	自然を微視的にみたり、思考したりすることの楽しさを味わいながら、確かな粒子概念を身に付けられる理科学習指導	本研究は、生徒に微視的な見方、考え方の楽しさを味わわせながら、確かな粒子概念を身に付けさせるために、物質やその変化を粒子のモデルで思考させたり、その考えを目に見える現象（実験）で検証させたりする演繹的な指導過程を工夫したものである。 具体的には、小中高のつながりから中学校理科でとらえさせるべき粒子概念を明らかにして、化学変化以外の事象（状態変化、溶解など）を互いに関連付けながら指導を行った。 その結果、物質やその変化を微視的にみたり、思考したりすることの合理性や楽しさを生徒に実感させることができ、確かな粒子概念を身に付けさせるために有効であった。
8	外国語（英語）	栢木千鶴代	霧島市立国分中学校	生徒一人一人の実践的コミュニケーション能力の基礎を培う中学校英語科の学習指導の在り方 －言語材料の定着を図る4領域を関連させた言語活動を通して－	本研究は、言語材料の定着を目指し4領域を関連させた言語活動を通して、生徒一人一人の実践的コミュニケーション能力の基礎を培う学習指導の在り方を追究したものである。 具体的には、中学校英語科における生徒に身に付けさせたい基礎的・基本的な内容について理解を深め、4領域を関連させた学習指導や教材の効果的な活用の工夫を行い、実証授業を通して検証した。 その結果、Teacher Talk に関する聞き取り・英問英答や表現読み等の音声を重視したコミュニケーション能力を高めることができた。

番号	教科領域等	氏名	勤務校	研究主題	研究内容
9	理科	山下 覚	県立開陽高等学校	地学現象を身近に感じることができる教材集と学習指導の在り方	<p>本研究は、生徒に地学現象を身近なものとして感じさせるために、どのような教材集を作成し、学習指導の工夫をすればよいかを明らかにしたものである。</p> <p>具体的な手だてとして、生徒のもつ情報と関連の深い地学教材の開発を行い、Webサイト形式の教材集としてまとめ、学習指導では、生徒のもつ情報の質や量を高め、地域にある地学現象に気付かせるなどの工夫を行った。</p> <p>このような手だてを講じることによって、生徒は地学現象を身近にとらえ、自然に対する関心や探究心を高め、理解を深めることが実証された。</p>
10	美術	本田 誠	県立奄美高等学校	<p>生徒一人一人に基礎的技能を高めさせ、表現の楽しさを味わわせる美術学習指導法の工夫</p> <p>ー美術I「デッサン」学習の導入部分における授業用Webサイトの活用を中心にー</p>	<p>本研究は、生徒一人一人に基礎的技能を高めさせ、表現の楽しさを味わわせるために、美術I「デッサン」学習の導入部分において、授業用Webサイトの活用を中心とした指導法を追究したものである。</p> <p>まず、デッサンに関する生徒と教師の実態調査等から、指導上の課題を明らかにし、課題に対応した授業用Webサイト等の教材を作成した。次に、この活用を中心としたデッサンの学習の指導法を工夫し、実証授業を行い、結果の分析を行った。</p> <p>その結果、生徒一人一人の作品や自己評価には具体的な変容が見られ、基礎的技能を高めさせながら表現の楽しさを味わわせることができた。</p>
11	特別支援教育	中村 志保	県立武岡台養護学校	<p>教育的ニーズに応じた自立活動の展開の工夫</p> <p>ー知的障害のあるA児の指導を通してー</p>	<p>本研究は、自立活動の指導目標設定の視点と他領域の指導と自立活動の指導を関連付ける方法を探ったものである。</p> <p>まず、教育的ニーズのとらえ方を明らかにし、教育的ニーズに応じた自立活動の指導目標を具体化する視点を探るとともに、自立活動内容関連表を作成して他領域と自立活動の関連を図った。その上で、対象児への指導を通して検証を行い、視点については、周囲にかかわる力を身に付けるような学習活動が設定できた。また、自立活動内容関連表については、生活単元学習の指導の中で自立活動の指導内容が明確にでき、教師の手だて等を見直すことができた。</p>